

県立高等技術専門校 入校選考過去問題 B

「国語」

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題一 次の各文の―線部の読みがなを書きなさい。

- ① 鉄道路線を延ばす。
- ② 美しい音色を奏でる。
- ③ 彼は早めに食事を済ませた。
- ④ 当たり前障りのない言葉
- ⑤ 巧みに操る術を心得ている。
- ⑥ 父は専らこれを注文する。
- ⑦ 至福の時
- ⑧ 地震で家が著しく傾いた。
- ⑨ さきほど、朝の点呼を終えたばかりだ。
- ⑩ 熟れた果実が食べ頃になった。
- ⑪ 秋の空は移ろいやすい。
- ⑫ 即ち、この理由が答えだ。
- ⑬ 考への筋道を整える。
- ⑭ 山の頂が険しい。

問題二 次の各文の―線部のカタカナを漢字にしなさい。

- ① 領土のカクダイが図られた。
- ② シラス台地はカザンバイが堆積した地形だ。
- ③ 日本はイギリスと同じく、議院ナイカク制だ。
- ④ 実力をハツキする。
- ⑤ キンロウ感謝の日
- ⑥ 誤字ダツジに気を配る。
- ⑦ 少数第三位をシシャゴニユウする。
- ⑧ 物事に対してシヤを広げる。
- ⑨ 動詞のカツヨウ形は複雑だ。
- ⑩ 強力なジシヤクで力を発生させる。
- ⑪ 彼はジュウオウ無尽の活躍をした。
- ⑫ 今年はチンギンが上昇した。
- ⑬ 今年のコクモツの収穫高は増加した。
- ⑭ 親が張り切るシュンカン

問題二 次の四字熟語の読みがなを書きなさい。

又、その意味として最も適当なものをア～オの中から選んで記号で答えなさい。

- ① 天真爛漫
- ② 傍若無人
- ③ 針小棒大
- ④ 山紫水明
- ⑤ 日進月歩

ア 進歩の度合いが、急速であること。

イ 景色の美しいこと。

ウ 生まれつきの素直な心そのまま、明るく純粹で無邪気なさま。

エ 他人を無視して、自分勝手に振る舞うようす。

オ 些細な物事を、おおげさに誇張して言うこと。

問題四 次の各問に答えなさい。

(一) 次の一線部の敬語が誤っているものを、記号で選んで答えなさい。

- ①
- ア 校長先生が授業を拝見された。
- イ お客様がいらつしやった。
- ウ 先生にうかがいます。
- エ 私がこれから申し上げることは事実です。

- ②
- ア あの方がおっしゃるとおりです。
- イ 書類を受け取りにまいます。
- ウ 明日はご自宅にいますか。
- エ 父は賛成だと申しております。

(二) 次の一線部を適切な敬語の表現に直しなさい。

- ① 部長がよろしければ、自分のほうは構いません。
- ② 僕が会社へうかがいます。
- ③ お客様、何かお食べになりますか。

問題五 次の短歌と鑑賞文を読んで、あとの各問に答えなさい。

① バタ足の ふと軽くなる ② 一瞬あり

④ 水は静かにわたしを恕す

佐藤きよみ

バタ足の慣れないうちは、前に進むことよりも水をバシヤバシヤ打つほうに、エネルギーをとられるような感じだ。それが、ふとしたコツを会得することによってア変わる瞬間がある。イそれまでは、人間の体に抵抗していたかのように思われる水がウ急に優しくなつて体を前進させてくれるものとなる。その変化の感じを「」と作者はとらえた。全身で水と対話した人でなくては、生まれない表現だなあと思う。

水泳の体験が、感受性豊かな一首にまとめられたというだけでも、読みごたえのある歌だが、さらに全体が、人生の比喩のようにも感じられる。一人よがりにもがいていた時には、障害だったものも、ちよつとした視点の切り替えや考えかたの変化によつて、思いがけなく自分を支えてくれるものになる……そんな解釈も可能ではないだろうか。いかにもという押しつけではなく、さりげなくそういう広がりを見せてくれるところが、またこの歌の魅力だろう。

(俵万智「三十二文字のパレット2」より)

(注 恕<sup>じゆ</sup>||おもいやり・ゆるす(こと)この短歌では、恕<sup>ゆる</sup>すと読ませている)。

(一) ———線部アとは、具体的にどうなることか。短歌の中から番号を一つ選びなさい。

(二) 鑑賞文中の  にあてはまる最も適当な表現を、短歌の中から番号を一つ選びなさい。

(三) ……線部イ・ウについて、筆者はそれぞれを人生の何にたとえているか。鑑賞文中から、……線部イについては二十五字以内、……線部ウについては二十字以内で書き出しなさい。

